

平成28年度 豊国学園高等学校 学校自己評価表（計画段階）

学校運営方針	評価（3月）	S 目標を大幅に上回る達成度 A 目標を上回る達成度 B 目標どおりの達成度 C 目標を下回る達成度 D 目標を大幅に下回る達成度
建学の精神である「人をして魂をゆさぶるが如き人間教育」を基に、実社会から求められ、活躍できる人材を育成する。		
学校重点目標		
基本的生活習慣を確立し、生徒の基礎学力を身につけさせ、生徒個々の進路を実現させる。		

今年度重点目標	具体的目標
進路実現のため基礎・基本的な学力を定着させると同時に個々に応じた能力と適性を伸ばす。	授業規律の確立に努めるとともに、生徒の興味関心を高め、資格や検定を取得させ、自らの可能性を信じ学ぶ意欲や姿勢を身につけさせる。
人格を尊重し、他人を思いやる、豊かな人間性を培う。	人権を尊重し、命を大切に健康・安全に留意した教育活動をおこなう。
分かりやすい授業を展開し、成績不振による中退・留年の防止に努める。	生徒の実態に応じた授業の研究をすすめ、適切な評価によりやる気を持たせる。

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価（3月）
総務部	各学校行事の運営を中心に関係各部と連絡・調整し円滑にすすむように取り組み、保護者への通知も遅れなく発信していきたい。	各種行事の企画・立案・議事・運営	
		年間行事予定表・月間行事予定表の作成	
		各種案内・通知の作成	
教務部	各種情報の分析、活用をすすめ、学校目標達成に近づける努力をしていきたい。また例年問題となっている追試について、期間内の指導終了を目標とし、さらに授業規律の確立、学力向上を目指し、追試がないようにしたい	退(転)学者・原級留置者・追試者を減らす	
		授業規律の確立	
		基礎学力向上	
生徒指導部	生徒が充実した学校生活を送り、希望進路の実現に向け、規範意識の向上や集団の一員としての責任を果たせるよう指導する。	中途退学防止委員会の開催	
		頭髪・服装検査・カウント制指導の確立	
		挨拶の励行、マナーの向上	
進路指導部	進路保障に向けて、「勤労観や職業観の育成」、「社会人としての基本的能力の育成」を基本目標とし、3年間で計画的にキャリア教育と支援を行う。	「いじめ防止委員会」の開催と共に学校生活アンケートの実施	
		各学年の進路未定生徒をなくし、3学年での進路決定100%を目指す	
		企業訪問により求人開拓と指定校を確保する	
普通科	生活情報コースの募集停止にともない、普通コースの2クラス編成ができるように生徒募集の成果をあげると共に、3年最後の進学コースの進路を充実させる。	企業の協力を基にインターンシップを充実させる	
		普通科各コース生徒の進路保障	
		保育コースを中心に各教科の出前授業の実施	
機械システム科	<ul style="list-style-type: none"> ものづくりの喜びが実感できる様な実習環境を整える。 指導教員のスキルを上げるための施策を講ずる。 企業の即戦力となる人材の育成に努める。 	実習工場内の設備を充実してもらう	
		学校外の教員研修に積極的に参加する。また生徒を各種コンクール等に参加させるための指導を行う	
		生徒の資格取得で機械系にとらわれず国家資格等を目指し資格取得に努める	
自動車科	より実践的な技術者の養成を目指し、自動車整備に必要な知識と最先端技術の習得と分解整備の技術を磨き、多様な産業界で活躍できる人材を育成する	専門教科における教科指導の充実	
		各種資格取得の推進	
電子情報科	ものづくりには欠かせない電気や電子情報の基礎知識と最新の技術に対応できる実践的な技能の習得をさせる	専門教科における教科指導の充実	
		各種情報系資格取得の推進	
保健	心身共に健全で健康的な高校生活が送れるよう、各種検診・検査を各部と連携して行い、カウンセリングの充実を図る。	各種検診・検査の実施	
		悩みを持つ生徒との関わりを持ち、担任と協調して問題解決に向け取り組む	
人権教育	同推委員会を定例で開催すると共に、各部の同推委員を中心に地域との交流・情報交換により生徒の進路を保障する。差別、いじめの無い学校生活を送れる様に、特設授業等で生徒に指導を行う。	同推委員会の定例開催	
		地域との交流・情報交換	
		差別、いじめの無い様特設授業教案の助言、協力を行う	
部活動	強化指定クラブだけでなく運動部・文化部共にすべてのクラブの活性化に努め、高校生活の充実の一助とする	本校の部活動生としての意識を高め、高校生活を充実させる	